

CM（コンストラクション・マネジメント）方式モデルプロジェクト 募集要項

【趣旨】

建設生産物は、発注者をはじめ、建設コンサルタント、元請等多数の当事者による共同作業により行われるものであり、発注者が、納税者に対して最も価値の高い建設生産物を提供するためには、関係者間の対等な関係の構築等新たな競争時代に対応した競争性・透明性の高い建設生産システムへの見直しが必要です。

このため、発注者として期待される体制を備えていない場合や工事の態様によっては、一般的な発注方法では対応できない場合に、民間事業者のノウハウを活用できる多様な調達手段を活用することが必要です。

特に、市町村など発注体制が脆弱な発注者においては、発注者の体制、能力を補完するCM、PM方式や設計施工一括発注方式等の多様な調達手段を活用することが強く求められます。

このような状況を踏まえ、国土交通省では、地方公共団体等から協力団体を募り、CM方式導入促進へ向けた調査検討の一環として、CM方式モデルプロジェクトを実施します。

本事業では、地方公共団体等の発注予定工事の中からCM方式モデルプロジェクトを選定し、その技術的アドバイスを行うためのCMアドバイザーの派遣や、CM方式導入する場合に要する費用（委員会等の運営経費等）などの支援を行うとともに、CM方式導入にあたっての諸課題をフォローアップします。

また、モデルプロジェクトを実施する発注者以外に対しても、希望に応じてCMアドバイザーを派遣し、CM方式の理解を深めることを通じて、その導入促進に努めます。

【対象事業者】

地方公共団体、地方公社及び地方独立行政法人

【対象事業の例】

土木、建築、設備等の工事において

- ・大規模プロジェクトや高度な機能を有するものなど、発注者の経験が少ない工種を発注する
- ・事業が分離・分割していることや事業が錯綜し、高度な調整が必要なことへ対応する
- ・短期的に事業量が増大した場合や限られた工期内で工事を完成させなければならない
- ・特定JVが採用されている難易度の高い工事等でCM方式で対応できる

場合等を想定しています。

【支援の内容】

- ・CMアドバイザーの派遣
- ・CM方式導入の適否判断に要する経費（CM方式導入検討委員会等の経費）、他団体発注の類似工事の事例調査に要する経費
- ・CMR（コンストラクション・マネージャー）の選定に係る経費（選定委員会の運営経費、委員手当等）
- ・CM方式導入後の効果検証経費 等の支援を予定しています。

【事業期間】

CM方式モデルプロジェクト・・・平成19年度中にCMRを決定する工事（工事着手は平成20年度以降でも可）を予定しています。

CMアドバイザーの派遣・・・工事着手年度の制限はありません。CM方式の導入に意欲のある団体、CM方式の理解を深めたい団体からの要望に随時対応します。

【募集事業の数】

CM方式モデルプロジェクト・・・3事業程度を予定している。

CMアドバイザーの派遣・・・15団体程度への派遣を予定している。

【応募方法等】

CM方式モデルプロジェクト・・・別添応募様式に必要事項を記載し、郵送又はメールにより下記提出先へ送付して下さい。

CMアドバイザーの派遣・・・下記問い合わせ先へご連絡下さい。（電話又はメール）

【募集期間】

CM方式モデルプロジェクト・・・平成19年6月25日～平成19年7月31日
募集期間外であっても、ご相談下さい。事業内容等を審査の上、対応致します。

CMアドバイザーの派遣・・・平成19年6月25日～平成19年7月31日
募集期間外であっても、ご相談下さい。CM方式の導入に意欲のある団体、CM方式の理解を深めたい団体からのご相談に対応します。

【審査方法】

CM方式モデルプロジェクトについては、書類選考により対象を絞った後、必要に応じて電話等で事業内容をヒアリングし、モデルプロジェクトを決定します。なお、審査のための追加資料の作成を依頼する場合があります。審査結果については、ホームページ等を通じて公表するほか、応募者に対して通知します。

また、CMアドバイザーの派遣については、個別に要望等をヒアリングした上で、対応します。

【モデルプロジェクト等の支援実施時期】

本年9月以降を予定していますが、実施時期が決定次第速やかにお知らせします。

【応募書類提出先及び問い合わせ先】

〒100-8918

東京都千代田区霞が関2丁目1番3号

国土交通省総合政策局建設業課入札制度企画指導室 担当 廣瀬・坂上

TEL 03-5253-8111（内線 24784・24724） FAX 03-5253-1553

mail : hirose-k26z@mlit.go.jp

CM方式（ピュアCM）の概要及びCM方式のパターン

CM方式の概要

発注者の補助者・代行者であるコンストラクションマネージャー(CMR)が、技術的な中立性を保ちつつ、発注者の側に立って、設計・発注・施工の各段階において設計の検討や工事発注方式の検討、工程管理、品質管理、法令遵守などの各種マネジメント業務の全部又は一部を行うもの。以下では、施工上のリスクを負わないピュアCMを例示

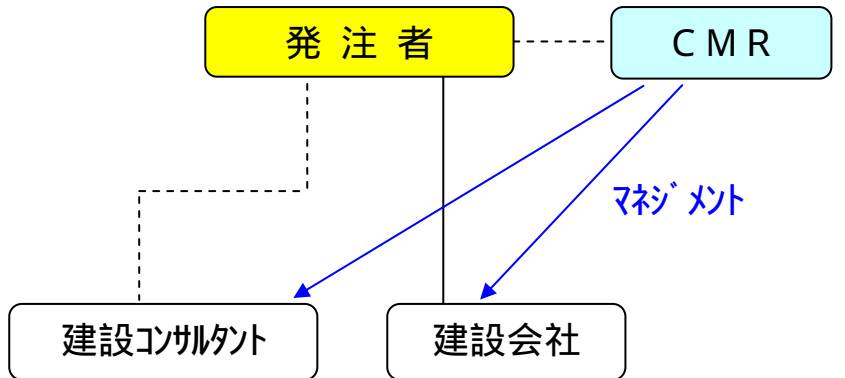
CMRの選定方式

- ・プロポーザル方式
- ・選定過程の透明性・公平性を確保するため、選定委員会を設置し、審査基準を策定

CM業務の対価の構成

CM業務の対価
= 直接人件費 + 直接経費 + 間接経費
+ 特別経費 + 利益（一般的に間接経費に計上）

設計・施工監理型



(地元総合建設会社 又は 専門工事業者)

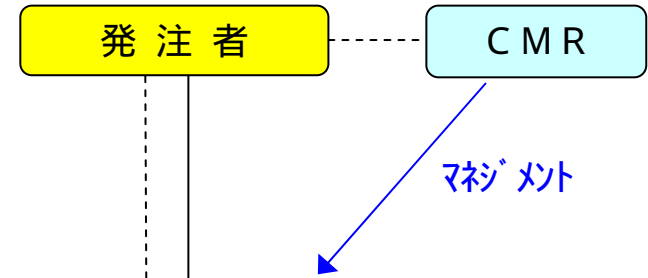
(活用方式の特徴)

- ・設計、施工の領域に対して発注者の経験が少ない工種の発注時に有効

(CMRの業務例)

- ・設計以降の全体をマネジメント
- ・発注者をトータルに支援

設計・施工一括発注型



建設会社 又は 建設会社と建設コンサルタントの連合体

(活用方式の特徴)

- ・設計段階から建設会社のノウハウを活用した方が効果的な工事において、発注者の経験が少ない場合に有効。また、災害復旧時等、時間的に余裕がない場合などでも有効

(CMRの業務例)

- ・設計以降の全体をマネジメント
- ・発注者をトータルに支援

CM方式の活用分野

発注者の 意図・ニーズ	分 野	土 木	建 築	設 備 ・ その他
	大規模プロジェクトや高度な機能を有するものなど発注者の経験が少ない工種を発注する場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地方空港 ・ 地方港湾 ・ ダム ・ トンネル ・ 橋梁 ・ 立体交差 ・ シールド ・ その他新技術・新工法対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 博物館、美術館 ・ 医療施設 ・ その他新技術・新工法対応 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 下水処理施設 ・ 廃棄物処理施設 ・ 浄水施設 ・ ゴミ処理施設 ・ その他新技術・新工法対応
	事業が分離・分割していることや、事業が錯綜し高度な調整が必要なことへの対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模災害復旧 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 都市再開発 ・ 官民の合築及び複合建築物 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大規模な下水処理施設及び管渠
	短期的に事業量が増大した場合や限られた工期内で工事を完成させなければならない場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害復旧 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害復旧 ・ 耐震補強対策 	